

2013年7月7日 「天一国の経典と共に生きて行こう」 森源八教区長

今日は、森教区長の説教でした。以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

「世界基督教統一神霊協会創立 60 回及び天聖經・平和経出版記念式」でのみ言の抜粋

今日、私は言葉にできないくらい嬉しいです。聖和1周年をあと2ヶ月に控え、今日このような天一国経典を奉獻することの出来るこの場を持たせてくださった天の父母様と天地人真の父母様そして金栄輝元協会長、李載錫元会長、元老達とたくさんの編纂委員、準備委員たちの苦勞をこの場を借りて祝賀し感謝に思います。

とても喜ばしいと言いました。60年間のお父様の業績は墮落した人類の前に宝石のような真理の真のみ言です。このみ言がばらばらにならず、美しい宝石となり、一列につながっていることを思うとき、とても喜ばしく感謝です。

今や私たちがこれから天一国時代に拍車をかけていく立場でこのみ言こそが天一国の実質的な中心となります。実です。柱なのです。このみ言と皆さんが一つとなり、皆さんが与えられた場で責任と使命を尽くしていくならばどれだけ天が喜ばれるでしょうか。私たちにまだ天が願われるみ旨の前にすべき責任が残っています。

全世界70億の人類を考えると、彼らを一日でも早く、一国の民としてこの時代に生まれた責任と使命を尽くすことが出来るように率いていくべき責任が私達にあります。先に知った者として、皆さんには責任があります。天一国の孝子・忠臣の場に皆が立つことのできる主人の立場にあります。

しかし皆さんが現実に怠慢となるならば、天は待ってくれません。皆さんがどのように実践躬行すべきなのかを再三決意してこの日を期し天が私たちに下さった宝石のようなこのみ言を中心に全人類を救援するために全力を尽くしてくださることを願いながら、今日この場に金栄輝元協会長をお呼びし、苦勞した人々に小さな精誠の贈り物をしたいと思います。